

「心は見えるか」

おはようございます。体育祭も大成功に終わり、6月になりました。6月も様々な行事が目白押しです。来週には生徒総会、再来週には運動部の学校総合体育大会、そして月末に3年生は修学旅行に行きます。いつも言っているように学校生活は点ではなく線ですから、行事の時だけでなく普段の日々も大事にしてこの忙しい時期を乗り越えていきましょう。

さて今日は、そんな普段の日々を過ごす上でちょっと考えてほしいことについて話します。今日の話のタイトルは「心は見えるか」です。みなさんは友達や家族など周りにいる人の心って見えますか。もしいたらその人は超能力があるかもしれません。残念ながら先生たちにもそんな超能力はありません。

学校がスタートして約2か月、1年生は中学校生活に2・3年生は新しいクラスにも慣れてきたころだと思いますが、最近私は気になることがあります。それは、日々の生活を過ごす中で人間関係や学校生活に疲れている人が増えているのではないかと思います。みなさんのクラスにも学校に来られなくなったり、教室に入れずに悩んだりしている人がいませんか。あるいは、あなた自身が人に言えずに悩んでいたたり、友達関係に疲れていたたりしていませんか。

人の心は見えない。2・3年生には「心のコップ」という同じような話を今年の10月の朝会でも話しました。心の中に悩みや苦しみをため込んで、コップに溜まった水があふれる寸前みたいな人はいませんか。そのコップの大きさは人それぞれ違うし、心のコップが人から見えるわけではありません。

おととい給食の時間に宍倉先生が、今月の生活目標にからめて友達とのコミュニケーションのとりかたについてお話してくださいました。

わたしはよくみなさんに「学校生活は点ではなく線だ。学校の階段は上りの一方通行だ」などと話をします。確かに学校生活は日々の積み重ねが大事だし、成長していくみなさんは上り階段を上がっています。でもね。人間だからずうっと走り続けたり、階段を一気に駆け上がろうとすると疲れてしまうこともあります。もし疲れたら、もし走るのが嫌になったら、上ろうとする階段が涙で見えなくなりかけたら・・・立ち止まっていいんです。階段に腰かけて休んでいいんです。逃げていいんです。そして苦しかったら「苦しい」と言ってください。いじめられて嫌な思いをしているなら先生たちや信頼できる友達に「困っている、いやだ」と言ってください。言わずに消えてしまわないでください。

自分以外の仲間の中に悩んでいる人やいじめられている人がいたら教えてください。

たとえ心の全部は見えなくても気づいてあげることはできるかもしれません。先生たちに見えない場面もみなさんには見えるかもしれません。お願いします。

今週各クラスでQ-Uというアンケートをします。心は見えないと言いましたがみなさんが自分に正直に向き合ってきちんと回答してもらえれば、先生たちにもみなさんの心の一端が見えるようになります。ぜひ真剣に取り組んでください。

今ニュースでも中学生が自ら命を絶ってしまうケースが何件も報道されています。

朝霞第一中学校では、そんな悲しいことが絶対に起きないようにみんなですべての健康を大切にしましょう。終わります。

修学旅行を通してさらなる成長を



校長 二見 隆久

みなさんが楽しみにしている修学旅行が、いよいよ始まりますね。中学校の3年間でも、多くの人が「一番思い出に残った」と振り返る行事です。ぜひ、たくさん心に残る楽しい思い出を作ってほしいと思います。

ただし修学旅行は、遊びに行くわけではありません。また家族でいく旅行とも大きく違います。考えてみてください。みなさんは友達とディズニーランドに行くときや、家族で旅行に行くときに「目標」を決めたり、「決まり」を作ったり、行動計画を立てたり、消灯時間を決めたりしますか。そんなことはしませんよね。でも修学旅行は学校として実施する旅行的行事です。どんな行事にも目的やねらいがあります。

今回の修学旅行の目的は、①歴史的な文化遺産を見学することにより、日本の伝統文化への理解を深める ②班別行動を中心とした集団行動を通して、自主の精神と行動する力を養う ③校外行事の集大成として、自分たちの手で修学旅行を成功させる です。具体的にいえば、学習面では、日本の素晴らしい文化に触れ、歴史の時間に学習した内容を振り返って感じ取ること、集団行動では時間や今やるべきこと（と やってはいけないこと）を常に意識して行動すること、そして青学年が大切に3年間培ってきた『自分たちの手で』行事を成功に導くことです。

私は、みなさんとは入学以来2年と3か月近く一緒に学校生活を送ってきました。いつも繰り返して話しているように「学校生活は点ではなく線」です。みなさんが2年生の時のスキー林間で実行委員を中心に苦しみながらも行事を作り上げてきたこと、初めて行われた体育祭で1・2年生をリードしながら最後まで頑張ったこと、そして日々の生活を大切に着席チャイムなどに取り組んでいること、私も学年の先生方もずーっとそばで見してきました。そしてその学校生活の延長線上に修学旅行はあるのです。いつも言っていますが、学校生活は一方通行の上り階段です。そして今回の修学旅行は学校行事で言えば、その階段の頂点です。2泊3日の貴重な経験を経て修学旅行から戻った君たちがまた一段と成長してくれることを期待しています。

